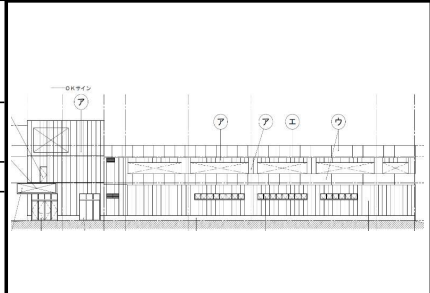


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オーケー新座野火止店新築工事	階数	地上2F
建設地	埼玉県新座市野火止一丁目1100番48、1101番22、1102番1・2	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、防火地域指定なし	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	物販店・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年09月 予定	評価の実施日	2022年12月15日
敷地面積	4,256 m ²	作成者	坂本 堅志
建築面積	2,973 m ²	確認日	2022年12月22日
延床面積	5,791 m ²	確認者	小泉 哲也



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 79% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 79%

④上記+: 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	売場の天井高3.5m。そして、ガルバリウムダクトを使用している。また、耐震クラスA。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
[BEIm] = 0.72。	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。そして、LGS使用している。また、ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	ライフサイクルCO ₂ 排出率が79%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)オーケー新座野火止店新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.6
Q1 室内環境							0.35		-	2.5
1 音環境						2.6	0.15		-	2.6
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能						-	-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-		-	
1.3 吸音						1.0	0.20		-	
2 温熱環境						2.0	0.35		-	2.0
2.1 室温制御						3.0	0.50		-	
1 室温						3.0	0.44		-	
2 外皮性能						3.0	0.21		-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.35		-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20		-	
2.3 空調方式						1.0	0.30		-	
3 光・視環境						3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用						3.0	0.52		-	
1 昼光率						-	-		-	
2 方位別開口						-	-		-	
3 昼光利用設備						3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策						-	-		-	
1 昼光制御						-	-		-	
3.3 照度						-	-		-	
3.4 照明制御						3.0	0.48		-	
4 空気質環境						3.0	0.25		-	3.0
4.1 発生源対策						4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。				4.0	1.00		-	
4.2 換気						2.0	0.30		-	
1 換気量						3.0	0.50		-	
2 自然換気性能						-	-		-	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50		-	
4.3 運用管理						2.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御						1.0	0.50		-	
Q2 サービス性能						-	0.30		-	2.9
1 機能性						2.6	0.40		-	2.6
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性						-	-		-	
2 高度情報通信設備対応						-	-		-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						2.3	0.30		-	
1 広さ感・景観		売場の天井高3.5m。				4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.33		-	
3 内装計画						1.0	0.33		-	
1.3 維持管理						2.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.1	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		ガルバリウムダクトを使用している。				4.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		排水VP(B)、給湯SUS(C)、冷媒管(C)。				4.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA。				4.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30		-	-	
1	階高のゆとり	階高:4.9m。	4.0	0.60		-	-	
2	空間の形状・自由さ	0.1≤[壁長さ比率]<0.3。	4.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり		床荷重:3900N/㎡	3.5	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.35		-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.3	0.20		-	-	2.3
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.72	4.0	0.50		-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1	モニタリング		-	-		-	-	
4.2	運用管理体制		-	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	2.9
1 水資源保護			3.4	0.20		-	-	3.4
1.1	節水	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60		-	-	2.6
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10		-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS使用している。	4.0	0.20		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	-	
1	消火剤		-	-		-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50		-	-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が79%。	3.8	0.33		-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
3	交通負荷抑制	I-1 自転車置場の確保。 II-1 駐車スペースの確保。 II-2 荷捌き用車両の駐車施設の確保。	4.0	0.25		-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1	騒音		3.0	1.00		-	-	
2	振動		-	-		-	-	
3	悪臭		-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	-	
2	砂塵の抑制		-	-		-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)オーケー新座野火止店新築	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	------------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.8	+	2.3	=	6.1	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
					

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
ライフサイクルCO2排出率が79%。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
特になし。			

: 入力欄